

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2014年2月号

NO. 249

TOPICS

「広報の原点」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 野村 武司
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2013」

「PRプランナーフォーラム」を2月20日に開催
ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2013」

「広報・PRプロジェクト優秀事例セミナー」を3月開催
ATTENTION P5

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

2月号 目次

2月～3月のスケジュール		— 1
<i>MESSAGE</i> (メッセージ)	「広報の原点」	— 3
<i>ATTENTION</i> (お知らせ)	「広報PRアカデミー2013 「PRプランナーフォーラム」を2月20日に開催」	— 4
”	「広報PRアカデミー2013 「広報・PRプロジェクト優秀事例セミナー」を3月開催」	— 5
<i>BULLETIN</i> (活動報告)	「「新春PRフェスタ2014」開催報告」	— 6
”	「広報PRアカデミー2013 「CSRコミュニケーション講座」を1月29日開講」	— 9
”	「広報PRアカデミー2013 冬のPRプランナー3次試験対応講座が終了」	— 10
”	「第10回企業部会フォーラム 「20周年を迎えたJリーグの広報戦略」	— 11
<i>VOICE of PR Planner</i>	「点を線に、線を円に、円を縁に」	— 12
<i>REPORT</i> (講演レポート)	「第153回定例研究会報告」	— 14
<i>PR TREND</i> (PRトレンド(関西))	「関西の風: 姫路に本社があるグローリー」	— 15
協会掲載記事	「PRSJ in Media 1月」	— 17

2月～3月スケジュール

広報PRアカデミー2013 PRプランナー1次試験対応講座	日時 : 2月4日(火)・12日(水)・18日(火) 19:00～21:30 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
米国研修報告・シンポジウム	日時 : 2月10日(月) 18:30～20:30 会場 : 日本記者クラブ(日本プレスセンタービル 9F)「宴会場」 テーマ : 「米国研修報告 ～特にPAについて」
第14回広報ゼミ(企業部会)	日時 : 2月13日(木) 16:30～21:00 会場 : (株)野村総合研究所 丸の内総合センター テーマ : 「広報活動における目標設定と効果測定」(仮)
なでしこカウンスル	日時 : 2月19日(水) 12:00～14:00 会場 : アクティオ(株) 7F「カンファレンスルーム」 講師 : セカンドハーベスト・ジャパン 井出留美氏 テーマ : 「偶然をチャンスに変える! 自分の働き方に会おう」
広報PRアカデミー2013 PRプランナーフォーラム	日時 : 2月20日(木) 19:00～21:00 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講師 : (株)田中危機管理広報事務所 代表取締役社長 田中正博氏
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務 シリーズ	日時 : 2月26日(水) 17:00～21:00 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講師 : 中央大学大学院 ビジネススクール/戦略経営研究科 教授 田中 洋氏 テーマ : 「ブランド・コミュニケーション講座」
第14回PRプランナー資格認定 検定1次試験	日時 : 3月2日(日) 10:20～12:00 会場 : 明治大学 駿河台キャンパスリバティタワー(東京) 毎日インテシオ(大阪) AQUA博多(福岡)
広報PRアカデミー2013 広報・PR最新事例セミナー	日時 : 3月12日(水) 18:30～20:30 会場 : AP浜松町
異文化勉強会 在日カナダ大使館訪問	日時 : 3月14日(金) 12:00～14:00 会場 : 在日カナダ大使館
PR業カンファレンス	日時 : 3月19日(水) 17:00～19:00 会場 : (株)アサツー ディ・ケイ 11F ラウンジ
広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務 シリーズ	日時 : 3月27日(木) 19:00～21:00 会場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講師 : 東海大学 経営学部 経営学科 教授 小野豊和氏 テーマ : 「グローバル・コミュニケーション講座」

2月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（2月度）	日時	： 2月12日(火)	12:00～14:00
	場所	： 六本木ヒルズクラブ	
幹部会（経営会議）（2月度）	日時	： 2月12日(火)	10:30～11:45
	場所	： 協会会議室	
教育委員会（2月度）	日時	： 2月20日(木)	12:00～14:00
	場所	： 協会会議室	
資格委員会（2月度）	日時	： 2月27日(木)	12:00～14:00
	場所	： 協会会議室	
交流委員会（2月度）	日時	： 2月20日(木)	17:00～18:00
	場所	： 協会会議室	
広報委員会			
PR小委員会(2月度)	日時	： 2月3日(月)	12:00～14:00
	場所	： 協会会議室	
出版小委員会(2月度)	日時	： 2月6日(木)	16:30～18:00
	場所	： 協会会議室	
企業部会幹事会（2月度）	日時	： 2月4日(火)	17:00～18:00
	場所	： 協会会議室	
PR業部会幹事会（2月度）	日時	： 2月13日(木)	16:00～18:00
	場所	： 協会会議室	

広報の原点

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 野村 武司

縁あって北海道大学大学院で広報の講義をする機会を頂き、早いもので、気がつくとも今年度が9年目となりました。企業の広報パーソンに向けて話をするのとは異なり、将来、必ずしも広報の仕事をするとは限らない人たちに対して、また、社会人学生や留学生も含め、さまざまな背景を持つ大学院生たちに対して、どのような講義をするのが良いのか、9年目を迎えた今も大いに悩んでいます。結局のところ、自らの広報業務の経験を踏まえた話しかできないのですが、せっかく、大学の先生と違う立場で話ができるということを思うと、広報業務のテクニカルな細部を話すのではなく、企業広報という業務を通じた、企業経営やマネジメント、あるいは“働くということ”を伝えることが大事なんだと思って取り組んでいます。

一方で、このような機会が、自分にとっての大きな気づきの場になっていることは間違いありません。そもそも、普段の業務を立ち止まって俯瞰し、整理して人に話をする、ということが貴重な勉強になることは言うまでもありませんが、それだけでなく、学生たちからの質問や感想を通じて気づかされることが本当に数多くあります。時々、自分が学生に伝えているもの以上に、気づきをもたらしていることのほうが多いのではないかと、いう気になることさえあります。

先日、今年度の講義がすべて終わった後、学生たちから講義の感想等のメールをもらったのですが、「ほんまかいな」というようなお礼の言葉もあったりしてうれしく、また、面はゆく思うところも多々ありました。そんな中で特に心に残ったものが2つあります。

1つは「教えてもらったことが私にとっての広報の原点になると思います」というコメントです。“原点”と言ってもらえるようなことをどれだけ伝えられたのか、という自問とともに、自分にとっての「広報の原点」とは何だろうか、という思いが頭をよぎりました。広報部門に異動になった当初の、新しいことを吸収しながら仕事に取り組んでいたころを忘れて、つついっ性で仕事をしているのではないかと、といくつもの反省点が思い浮かびました。

もう1つが「楽しそうに話されている姿をみて、私も広報という仕事を目指したくなりました」という言葉です。何をそんなに楽しそうに話していたのでしょうか？ それはともかく、講義の中身以外でも伝わるものがあつたのだと思うと素直にうれしく思いました。しかし、自分が仕事を楽しめているのかどうかと考えると、難しい問いかけをされたとも受け取れます。「広報の原点」ということにもつながることだと思いますが、自分自身や組織が成長すること、あるいは自分の世界が広がっていくことを実感することなど、本質的な部分で仕事を楽しんでいけるよう、新たな気持ちで現在の“私の広報業務”を見つめ直したいと思います。そして、もう一度、自分にとっての「広報の原点」は何かを考えてみたいと思います。

皆さんにとっての「広報の原点」は何でしょうか。

広報PRアカデミー2013

「PRプランナーフォーラム」を2月20日に開催

— 田中正博氏を講師に危機管理をテーマとして初開催 —

教育委員会

協会では、PRSJ認定PRプランナー資格を取得された皆様に対する教育支援活動の一環として、広報・PRの専門研修セミナー「第1回PRプランナーフォーラム」を、2月20日午後7時より六本木アカデミーヒルズ49にて開催いたします。

日本PR協会は専門的な研鑽機会を必須とするPRプランナーの支援を目的として教育研修活動の強化を決定、具体的施策の一環として「PRプランナーフォーラム」の定期開催を決定しました。本フォーラムは、その第1回として開催するものであり、協会では今後もPRプランナー相互の交流を支援する「PRプランナー交流会」とともに開催していく予定です。

初開催となる本フォーラムでは、危機管理の専門家として知られている株式会社田中危機管理広報事務所 代表取締役社長 田中正博氏を招き、企業・団体における危機的事態発生時における広報・PRパーソンの対応や最新の危機管理事例等についてご講演をいただきます。

近年における食品の偽装や誤表示、整備ルールの無視をはじめ様々な不祥事や事故の報道には、枚挙のいとまがありません。そして万が一、自身の所属する企業や団体における予期せぬ事態の勃発に対して、広報・PRパーソンは経営と一体となり問題の解決と事態の回復に最前線であたらねばなりません。その時、問われるのが危機管理対応の心構えや考え方、原則を踏まえた基本的な対応です。今回のセミナーでは、危機管理に経験の深い田中正博氏よりPRプランナーが備えておくべき知識やスキル、最新の危機対応の事例等についてお話をうかがいます。



本フォーラムの詳細ならびに申込みは、協会Webサイトの「広報PRアカデミー2013 PRプランナーフォーラム」のページ（以下URL）をご参照ください。

（なお、本フォーラムの参加資格は「PRSJ認定PRプランナー」です。准PRプランナー、PRプランナー補の皆様はご参加いただくことができません。）

http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2013/prp_forum

広報PRアカデミー2013

「広報・PRプロジェクト優秀事例セミナー」を3月開催

「PRアワードグランプリ2013」受賞作品を一般公開

教育委員会・顕彰委員会

来る3月12日(水)、東京都港区の「A P浜松町」において、「PRアワードグランプリ2013」における「グランプリ」及び3部門の最優秀部門賞を受賞した広報・PRプロジェクトを一般公開する事例セミナー「広報・PRプロジェクト優秀事例セミナー」を開催いたします。



2013年5月の事例セミナー

当協会が毎年実施し、多くの作品が応募される「PRアワードグランプリ」は、企業・団体やPR会社、公共団体などが実施した広報・PRのプロジェクト事例を審査し、優秀事例を表彰する制度です。広報・PR関係者の高い注目を集め、毎年、協会内外の多くの企業や団体などからさまざまな広報・PRプロジェクトが応募されています。

「PRアワードグランプリ」は毎年12月に開催されており、受賞プロジェクトに関するいちはやい一般公開へのニーズに応え、3月の開催の運びとなりました。わが国における広報・PRの発展への貢献を趣旨として、関係者の協力により今回は本セミナーを3月12日に開催いたします。

本セミナーの実施案内、聴講受付は2月中旬より「広報PRアカデミー2013」のページで行います。皆様のご参加をお待ちします。

■本セミナーで一般公開するプロジェクト

内 容	講演会社・団体
●PRアワードグランプリ 「『土のフルコース』プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション」	株式会社TBWA 博報堂・ 株式会社博報堂
●コーポレート・コミュニケーション部門 最優秀賞 「東京2020オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動」	東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会
●マーケティング・コミュニケーション部門 最優秀賞 「10月29日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』」	アツヴィ合同会社
●ソーシャル・コミュニケーション部門 最優秀賞 「選挙割(センキョ割)」	株式会社ワカゾウ
●イノベーション/スキル部門 最優秀賞 「『転載』を活用した中国での科学的PR手法」	株式会社博報堂

「新春PRフェスタ 2014」開催報告

1月21日（火）六本木のホテルグランドハイアット2階において、「新春PRフェスタ 2014」と銘打って協会主催のイベントが開催され、「新春PRフォーラム」「賀詞交歓会」合わせて延べ人数100名余の方々のご参加をいただきました。当日は、「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式から始まり、「新春特別講演会」、「賀詞交歓会」と続き、新春の一日を協会の行事で過ごしていただきました。

各々の報告は以下の通りです。



【第5回新春PRフォーラム】

16:00からホテルグランドハイアット2階「アニス」において「第5回新春PRフォーラム」が開催されました。第1部では、「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式を執り行いました。



まず、2013年度「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式では、受賞者の走り幅跳び日本代表選手、パラリンピアン佐藤真海氏が、また、2013年度「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、NPO法人本屋大賞実行委員会（代表して本屋大賞実行委員会理事長の浜本 茂氏と本屋大賞実行委員会委員の高頭佐和子氏）が受賞され、各々森理事長からトロフィーと副賞の目録が贈呈されました。

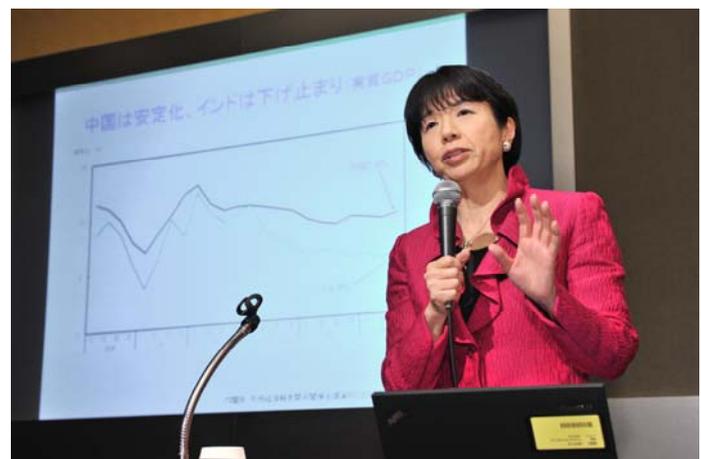




贈呈後受賞者から佐藤氏と高頭氏から受賞スピーチをいただきましたが、お二人ともユーモアも随所にちりばめられたすばらしいスピーチでした。



第2部は新春特別講演として「2014年の日本経済と成長戦略」をテーマに、政策研究大学大学院教授で、内閣府規制改革会議議長代理の大田弘子氏にご講演いただきました。



「第5回新春PRフォーラム」は101名の方(招待者含む)にご参加いただきました。

なお、講演内容は、次号(協会ニュース3月号)でご報告させていただきます。

【賀詞交歓会】

新春PRフォーラムが終了後、会場を同階「バジル」に移し、賀詞交歓会を開催いたしました。



理事長挨拶に続き、日本広報学会 理事長 清水正道氏のご挨拶と乾杯のご発声ののち、懇談の場へと移りました。

この日は各コーナーで用意されたお酒や料理に舌鼓を打ちながら談笑したり、名刺交換をするシーンが数多く見受けられました。

会員がお互いに仕事や近況の話に花を咲かせる中、20時分に副理事長 山田悦朗氏による中締め挨拶があり、盛況のうちに2013年度の賀詞交歓会が終了いたしました。



なお、今回の賀詞交歓会は、114名の皆様(招待者含む)にご参加いただきました。

参加者の皆様、ありがとうございました。



広報PRアカデミー2013

「CSRコミュニケーション講座」を1月29日開講

教育委員会

さる1月29日、「広報PRアカデミー2013 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」の第3回として、「CSRコミュニケーション講座」を六本木アカデミーヒルズ49にて開講しました。

講師には、立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授 齋藤哲男氏を迎え開講しました。齋藤教授は、日立製作所において国際営業・経営にかかわる要職を歴任、国際通商問題、企業市民活動を含む様々な企業外交や社会活動に携わられたのち立教大学大学院に移られ、グローバル時代における企業の社会的責任(CSR)やグローバルリスクマネジメント等の研究に実績をあげておられます。



今回の講座は、「CSRを基軸とする企業と社会の新しい関係～重要性を高めるステークホルダーとの双方向コミュニケーション」をテーマとして開講、グローバル化を背景として噴出する様々な課題に関する解決の必要性が高まる今、企業やNPO・NGOといったあらゆる組織体がCSRを経営や事業活動の基軸におき社会的な意味のある事業を推進していくことの重要性が語られました。さらにその活動の推進が課題解決をもたらし、社会や企業の持続的な発展をもたらすこと、また既存の企業やソーシャルベンチャーが実際に行っている社会的事業の実例などが示されるとともに、広報・PRのミッションとしてステークホルダーとの双方向コミュニケーションによるレピュテーションの管理、各種組織体と協働の必要性が示されました。

単なるCSRの概念の解説にとどまることなく、社会の発展の担い手としての企業、NPO・NGO等の組織体における社会的事業の推進、ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの重要性など、CSRの遂行に関する新たな視点の提示に多くの聴講者が高い関心を持ち、質疑応答に集中して終了時間を40分も超過する熱の入った講座となりました。講座終了後にも質問を重ねる受講者もみられ、たいへん有意義な講座として終了しました。

今年度の「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」は、すでに3講座を終了しており、2月には「ブランド・コミュニケーション」、3月には「グローバル・コミュニケーション」をテーマとした講座を開講し、今期の予定を終了します。詳細/お申込みは、日本PR協会Webサイト「セミナー/イベント」の「広報PRアカデミー2013」ページ(以下URL)をご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2013>

■「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」講座概要

日時	講座テーマ	講師	締切
2月26日(水) 17:00~21:00	「コンセプト・ブランディング」～ブランド構築に向けた新たな戦略的アプローチ～	中央大学大学院 ビジネススクール/戦略経営研究科 教授 田中 洋 氏	2月21日 (金)
3月27日(木) 19:00~21:00	グループ内におけるグローバル・コミュニケーション戦略	東海大学 経営学部 経営学科 教授 小野豊和 氏	3月24日 (月)

広報PRアカデミー2013

冬のPRプランナー3次試験対応講座が終了

教育委員会

協会では、昨年12月12日より「PRプランナー3次試験対応講座(冬期)」を六本木アカデミーヒルズにて開講、予定通りすべての講座を実施し1月22日をもって今季6回の講座を終了しました。今回は、前回は大きく上回る54名が本講座を受講しており、PRプランナー資格の普及と人気の高まりをうかがわせました。

「第13回PRプランナー資格検定3次試験」は1月25日に東京にて実施されており、講座の受講者多数が受験しました。ニュースリリースと広報・PR計画の立案法に関する専門的な知識とスキルを身に付けた多くの受講者の合格が期待されています。

なお、昨年12月12日と18日に開講した「合格するニュースリリースの作成法」講座は㈱ミラソルの田代 順氏、12月25日と今年1月8日開講の「広報・PR計画の立案作成(マーケティング課題)」では㈱インテグレート赤坂幸正氏、そして1月15日及び22日開講の「広報・PR計画の立案作成(コーポレート課題)」は㈱電通パブリックリレーションズの許 光英氏が講師を担当しました。実務における豊富な経験を生かした指導には、会場では多くの受講者が熱心に聴き入っていました。



「PRプランナー1次試験対応講座(冬期)」はWeb受講を受付中

協会では、3月2日実施の「第14回PRプランナー資格検定1次試験」の受験者を対象とした「PRプランナー1次試験対応講座」を1月28日より開講しています。

インターネットを活用して時間と場所を選ばず受講可能なWeb受講については、開講後も申込みを受付けております。詳細/お申込みは、日本PR協会Webサイト「セミナーイベントを探す」の「PRプランナー試験対応コース/1次試験対応講座」ページ(以下URL)をご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/prp/1st_201401

会 員 限 定**「第10回企業部会フォーラム」を1月17日に開催
日本プロサッカーリーグ 広報室長 萩原和之氏による
「20周年を迎えたJリーグの広報戦略」****企 業 部 会**

企業部会では、さる1月17日（金）に、第10回目となる「企業部会フォーラム」を開催しました。今回は江東区豊洲にある㈱NTTデータのショールーム施設「INFORIUM」での開催となりました。

プログラム前半は、「取材側から見たJリーグ広報」と題し、「スポーツ・グラフィックNumber」編集長 松井一晃氏と明治学院大学 特命教授 尾関謙一郎氏による対談が行われ、Jリーグの広報についてメディア側の観点でお話いただきました。

後半は、日本プロサッカーリーグ 広報室長 萩原和之氏の15年以上にわたる広報のご経験から、広報担当者には「画期的な広報手法は無い」「常に自分が変わり続ける」「英知を結集する」ことが重要と話され、参加者にアドバイスをいただきました。

参加者は26名でした。

点を線に、線を円に、円を縁に

株式会社プランタン銀座
飯塚 久美

JALUXの増茂さんより、バトンを受け取りましたプランタン銀座の飯塚でございます。ランナーでありパン作り名人、と素敵なお紹介をいただきましたが、自ら焼いたパンで摂取したカロリーをランニングで消費する、という自己完結型の趣味を10年程続けています。広報歴も同じ位で、広告代理店勤務を経た後に、興味があった編集者を目指す際に「取材される側の経験も役に立つかも」と、広報アシスタントを募集していた弊社に入社しました。そこで面白さに目覚め、雑誌媒体中心のファッションプレスの仕事を経て、現在は社内外の広報業務全般に携わっています。

プランタン銀座は、フランス・パリの百貨店「プランタン」との提携店として1984年の開店以来「20代、30代の働く女性のためのファッションスペシャリティストア」として女性のライフスタイルをバックアップし今年30周年の節目を迎えました。広報は、日々のメディア対応に加え、顧客層向けのイベントも担当しています。例えば「女子会」企画は、このワードが定着する前の2006年から継続しています。館で売っているワンピースやスイーツは「モノ」ですが、着る場所、食べるシーンを含め提案する「コト」消費を促進し、ファンづくりに努めています。

私が広報として大事にしている姿勢で「点を線に、線を円に、円を縁に」というのがあります。女子会企画も、単店舗ではニュースにならなくても、お取引先や媒体を巻き込み、点と点を繋いで線へ、円へと広がりを持たせることでバリューが上がり、取り組み自体に取材が入るまでに成長しました。

長年の名物催事である新春の福袋も同様です。2013年に隣接する阪急メンズ東京とのコラボレーション福袋を企画しました。「街コン」をテーマに福袋を購入した男女による「デパコン」を開催する、というもの。福袋を他百貨店と一から作り上げるのは日本初の試みだったのではないのでしょうか。取材件数も前年比130%と伸長し、当日は4,000名の方にお並びいただきました。

2014年にはコラボ福袋第2弾も実施し、しっかりと縁は繋がれています。これからも「日々ががんばっている、女性をハッピーにする」という軸をぶらさず、様々な点を繋いで楽しい企画を組み立てていこうと思います。

さてPRプランナーを受験した経緯ですが、当時の女性役員からの勧めで2008年に受験しました。そして恥ずかしながら3次で不合格に！現在でも月平均70件の取材、情報誌が今より活況だった当時は月100件以上のペースで取材を受けていたので、経験値の高さでは自信があったのに！？とショック。さっそく次回の再試験に向けて、広報計画の組み立てを中心に特訓しようと思いました。百貨店は年間通じて歳時記の施策が短いタームで絶え間なくあり、ネタには事欠かない為それまでは広報計画の必要性が感じられませんでした。しかし、勉強しているうちに自分は「こなす」ことは上達したけれど「自分の頭で考える」ことが未熟なままであったと思うに到りました。今ではこの時の経験を後輩に笑い話として話しながら、自分で考えることの重要性を伝え、必ず広報計画を立てて共有しています。

PRプランナー交流会での様々な業界の同職種の方との出会いは、普段あまり外に出る機会のない自分へのご褒美の場です。みなさんその道のエキスパートばかり。惜しめない助言を与えてくださり、メディアの方や取材企画をご紹介いただくことも。目先の利益に繋がらなくても、点は必ず縁へと繋がるとここでも感じています。そんなお得な会なのです（準備委員なのでちよっぴり宣伝）。

世が流れて、広報の仕事も多岐に渡るようになりました。我々の仕事に絶対の正解があるわけではありません。しかしPRプランナーという資格を通じて、ひとつの大きな指針を学ぶことは可能です。資格ホルダーがひとりでも多く活躍し日本の広報業界全体のさらなる発展につながることを願っています。

さて、大事なバトンは尊敬する女性広報パーソンのおひとり、パナホームの古矢直美さんに繋がります。とある広報パーソン宅のホームパーティーでも同席させていただきましたがいつも優しい笑みを湛えながらお酒を飲むお姿がクールです。意外と熱い一面が語られることと、楽しみにしています！

会 員 限 定**第153回定例研究会****紙面とデジタルの融合を目指す毎日新聞の新展開
～12月大刷新にみる毎日新聞社の次世代戦略を探る～**

講師:毎日新聞社 執行役員 東京本社編集編成局長
小川 一 氏

第153回（12月度）は12月4日（水）、日本外国特派員協会で開催されました。

講師は、毎日新聞社 編成編集局長 小川 一氏。テーマは「紙面とデジタルの融合を目指す毎日新聞の新展開 ～大刷新にみる毎日新聞社の次世代戦略を探る」。

参加者は57名でした。



<コラム 関西の風>

姫路に本社があるグローリー

グローリー株式会社
広報部長
井澤 豊

平成も26年に入り1カ月余がすぎましたが、年明け早々の1月5日よりNHK大河ドラマ「軍師 官兵衛」の放映がスタートしました。ローカルな姫路に本社を置く弊社としましては、“姫路”のセリフが発せられる度に心が躍り、嬉しい限りです。この舞台である姫路城のPRと併せ、昨年、大人気となったテレビドラマで弊社製品が果たした役割を紹介します。

1. 世界文化遺産『姫路城』

黒田官兵衛（孝高）は、姫路城の第14代城主でもあります。

現在の姫路城は5層7階の天守からなり、関ヶ原の戦いの翌年（1601年）から8年の歳月を費やして、池田輝政により建てられました。播州平野の真ん中・姫山の丘に空に向かって建ち並ぶ天守群と、白く美しい白壁の広がり天を舞う白鷺のように見えるため、別名白鷺城（しらさぎじょう）とも言われます。歌手・村田英雄さんのヒット曲「白鷺の城」でも知られる天下の名城です。

国宝・姫路城は平成5年（1993年）12月11日に、奈良の法隆寺とともに日本で初の**世界文化遺産**となってから、早くも20周年を迎えました。それを記念して、弊社からも券売機4台を姫路市に寄贈しております。

平成21年10月から始まった平成の姫路城大修理は、今年1月に漸く終了しました。大天守修理見学施設「天空の白鷺」も3月末迄かけて素屋根等の撤去工事が行われますので、4月以降に内部登閣できる模様です。

<http://www.himeji-jo-syuri.jp/repair/index.html>

ぜひ一生に一度は、弊社の券売機で入場券をお買い求めになられた上、城主になった気分登閣して、世界のお宝をじっくりとご堪能ください。



世界文化遺産 姫路城



グローリー製 入場券売機

2. TBSドラマ・日曜劇場『半沢直樹』

一方、昨年に流行語大賞を獲得した「倍返しだ！」のセリフとともに、42.2%の高視聴率（ビデオリサーチ調べ）を記録したテレビドラマ「半沢直樹」。主人公の勤める東京中央銀行の店舗内のセットが、グローリー製品だったのをご存知でしょうか？

<http://www.glory.co.jp/company/news/2013/0724.html>

第6話では、弊社の重要物管理機「BKシリーズ」（“いつ” “誰が” “何を” 出し入れしたかを厳正に管理する機器）が、実際にドラマで使用されました。（※1）

銀行が舞台なので、貸し出した機材はお飾りだとばかり思っていたのですが、プロデューサーがこのBKの機能を知ってシナリオを変更したらしく、原作には無い現代風に面白くアレンジされ、緊迫感のある深い内容に仕上がっているのには、感心してしまいました。

ただその影響で、放映後に出社すると「テンキーの入力が把握されるのは問題では……」との意見が社内から多数寄せられ、直ぐに担当の設計部門長に確認を取りました。

セキュリティ対策としては、ログイン時にカメラ撮影画像を記録しており、設定によって①テンキー配列の毎回ランダム配置、②「手入力ID+パスワード」以外に「磁気／ICカード+パスワード」、③起動時に二者承認（夜間の起動防止策）が選択できるなど、導入先のセキュリティ・ポリシーに従って柔軟に運用できる仕様になっておりました。

SNSやWeb上でも、この件に関してどんなコメントがあるのかを調査しましたが、「あんなことは現実あり得ないだろ……」との冷静なコメントでしたので、胸をなでおろしました。

ちょっとした騒動？となりましたが、私にとっては良い経験になりました（笑）。



東京中央銀行の店舗シーン

※1 金庫室の中にある疎開資料を入手するため、金庫室の鍵が保管されている重要物管理機（BK）の暗証番号を、タミヤ電気に出向したストレス病のある近藤直弼（滝藤賢一）が見て覚えていた。

PRSJ in Media

● 1月1日（水） 『月刊広報会議』 2月号

当協会が実施した12月の「2013年度PRアワードグランプリ」について、2ページにわたり紹介されました。記事では、「グランプリ」を受賞した「土のフルコース」（プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション）の概要が写真入りで紹介されたほか、各部門最優秀賞について触れられています。

● 1月1日（水） 『月刊広報会議』 2月号

『月刊広報会議』2月号における連載コラムで、当協会が実施した「第9回広報活動研究会」の活動が紹介されています。

記事では、企業部会が行っている「企業部会フォーラム」「広報ゼミ」「広報活動研究会」の3つの活動に触れ、さらに昨年11月に「第9回広報活動研究会」で行われた「グリコピア・イースト」の訪問、「グリコタウン」「ミニファクトリー」と江崎グリコ株式会社の広報、マーケティング活動について掲載されました。

● 1月10日（金） 『広告ジャーナル』

「広告業界ニュース」の中で、当協会の「2013年度PRアワードグランプリ」について紹介されました。記事では、本アワードの目的に触れるとともに、グランプリ受賞の「土のフルコース」、各部門の最優秀賞作品について掲載されています。

編集担当より

会員みなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載